

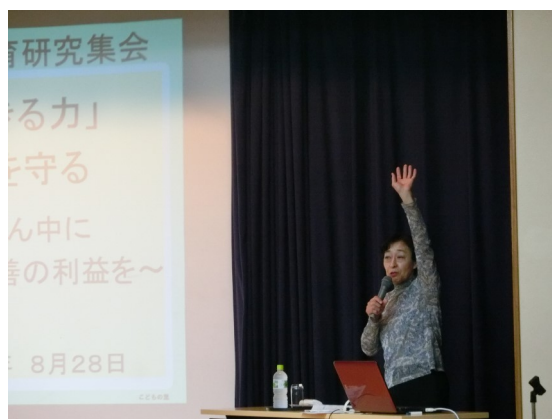
第67次神戸市教育研究集会 報告

8月28日(月)に第67次神戸市教育研究集会が開催されました。今年度は、全体会・分科会の同日開催ならびに分科会を12に絞って1部制で開催しました。

全体会では、映画「さとにきたらええやん」というドキュメンタリー映画にも出ておられる荘保共子さんにご講演いただきました。「子どもの生きる力を守る」というテーマで、映画に出てきた子どもを含めた、子どもたちを取り巻く環境について熱くお話されました。

分科会では、全30本のレポート報告、41名の運営(司会・記録・共同研究者)の方々、そして延べ人数300名以上の参加者の方々に参加していただきました。どの分科会でも、みなさんの教育にかける熱い思いをもとに討議が進められ、有意義な1日となりました。

また、今年度は、10名の地域リポーター・外部リポーターの方々に報告をしていただきました。また、他府県からも2名の方に来ていただき、貴重なお話を聞く機会となりました。



全体会

地域リポーター・外部リポーターとしてお世話になった方々

- No.13 人権教育・・・小松 拓海さん(ファミリーホーム「ワズハウス」)
- No.14 特別支援教育・・・森田 陽次郎さん(NPO法人「あんだんてKOBE」)
- No.15 国際連帯・多文化共生の教育・・・大津山 光子さん(NPO法人SEEDS Asia)
- No.17 食教育・・・幾田 英之さん、志村 茉那さん(コープフーズ)
- No.17 食教育・・・山口 寛人さん(NPO法人 オルタナティブビレッジ)
- No.18 平和教育・・・飯島 春光さん(長野市立篠ノ井西中学校)
- No.20 評価選抜制度と進路指導・・・茂木 美知子さん(WACCA塾)
- No.20 評価選抜制度と進路指導・・・濱本 眞寿さん(神戸市高等学校教職員組合)
- No.22 学校・地域における教育改革運動・・・湯田 カさん(元長尾小学校PTA)
- No.22 学校・地域における教育改革運動・・・今関 明子さん(元本多聞中学校PTA)
- No.特1 生きる力を育む教育・・・角田 政志さん(福島県教職員組合)



平和教育



生きる力を育む教育



～参加者の感想(一部抜粋)～



- こどもの里の活動を見て子どもの力、周囲（地域）の方たちの力を如何に巻き込んでいくかの必要性を感じた。（全体会）
- 学校現場にいる私も荘保さんのような大きな愛をもって子どもたちと接し、できれば教室の中に子どもたちの居場所を作ってやりたいと思いました。「子どもたちを守る＝その親も丸ごと受け止め支援していく」小学校でも大切な考え方、視点だと思いました。早く子どもたちに会いたいです。（全体会）
- 改めて外国語活動の新たなとりくみ、教科化に向けての動きを積極的に取り込んで生かしていかなければいけないなと思いました。（外国語教育）
- 音楽のもつ力、教師の情熱、学校とは、特別支援教育とは こうあるべきなんだなあと気づかされました。家庭とは違うアプローチの仕方では保護者と連携しつつ共に育て、育っていきたいと思います。（特別支援教育）
- それぞれの発表が一人一人を大切にしたりくみをされているのがよく伝わってきた。ファミリーホームの存在を知ることができてよかった。温かい家庭で育つ子が増えることを願います。（人権教育）
- 私のクラスにも多国籍の児童がおり、日々の指導に苦悩しているところでした。その子が、胸を張って生活し、生きていけるようこれからも一緒にがんばっていきたい。（国際連帯・多文化共生の教育）
- 中学校給食やNPO法人の方の話を聞いて生産者側の思いについて知ることができた。（食教育）
- 知っていく、学んでいくことがとても大切で、いろいろなことに興味をもっていかないといけないと思った。中身はいろいろあったが、自分なりの切り口を開いていけるよう学び続けていきたくと思いました。大きなパワーをいただいて元気をもらいました。（平和教育）
- 満蒙開拓団のとりくみは真に部落問題解決学習に通じていた。平和学習に対する考え方を改めて再認識することができた。（平和教育）
- 今まさに学年で起こっているLINEトラブルについてだったので大変参考になりました。スマホ普及が広まる中、どのようにSNSと付き合うべきなのか学校でもルールをみんなで考えるということは有効であるように感じました。（情報社会の教育と文化活動）
- 神戸市の高校入試制度の今についてよく分かりました。特色のある高校も多く生徒が将来を見すえて選択できるのはいいことだが、合併も多く教員確保の難しさも分かりました。（評価選抜制度と進路指導）
- WACCAのお話を聞いて、そんな場所があるということを知って驚きでした。そんな人たちの存在が知れてとてもうれしかったです。いろいろな立場からの進路のお話が聞けてよかった。（評価選抜制度と進路指導）
- 「うちでもできそう」と思う連携の事例もたくさんありましたが、このレベルにもっていくには、職員の意識の底上げが必要だなとしみじみと思いました。（教育課程）
- いつも一方的に学校側からしか見ていなかったのが、保護者側からの意見は、すごく貴重でした。（学校・地域における教育改革運動）
- 学校事務職員の未来について考えさせられる良い分科会だったと思います。あらためて、職務標準のこと、相互支援体制のことを考えさせられた（教育条件整備の運動）
- 災害時にどんな動きをすればいいのかだけでなく、地震や津波のメカニズムを知った上で自然の恩恵と怖さの両面を理解していくことが子どもの生きる力につながるということがわかりました。様々な教科からアプローチできることも知り、普段から防災学習につなげることが大切だと思いました。福島の状態を生々の声で聞くことができ、写真も見れて改めて福島のことを考える機会になりました。（生きる力を育む教育）

ご協力、ありがとうございました。

